

あいとよ協会だより



AICHI TOYOGAWA
CANAL ASSOCIATION

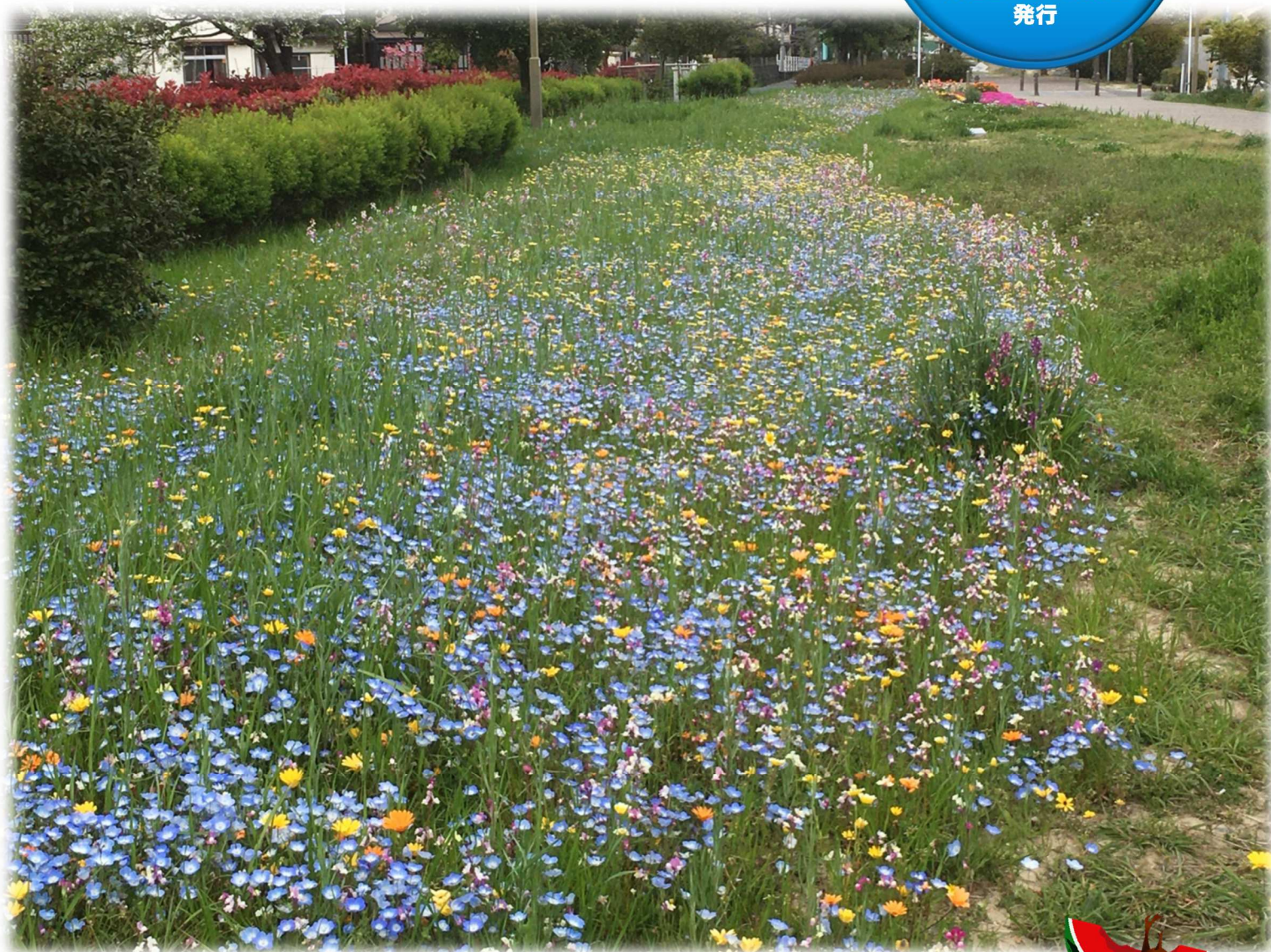
公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目6番1号（愛知県三の丸庁舎8階）
TEL 052-961-8985 FAX 052-961-9255



VOL. 15

令和2年7月20日
発行



愛知用水水路上部を活用し、東海市が整備した親水公園：大堀緑道（東海市加木屋町）



愛知用水通水60周年

愛知用水は2021年9月に
通水60周年を迎えます。

理事長あいさつ
令和元年度事業報告及び令和2年度予算
お知らせ
木曾川・豊川・矢作川水系のダム貯水率
愛知県内気象データの提供について
写真で見る愛知用水



勝又 久幸

皆様方には、平素より当協会の業務運営に格別のご理解、ご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年 10 月の台風 19 号がもたらした記録的な豪雨により、甚大な被害が発生したことは、記憶に新しいところです。こうした水害の激甚化を踏まえ、内閣官房が主体となって昨年 11 月に設置された「既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議」において、全国の 1 級水系にある 1,460 のダムの利水容量の一部を、洪水調節容量として活用することとなりました。

具体的には、国土交通省が気象庁の予測を基に提示する各ダムの「上流域予測降雨量」が、前もって定められた各ダムの「基準降雨量」以上である場合には、ダム管理者は所定の洪水調節容量を確保するため、利水容量を事前に放流することとなり、豊川水系では、宇連ダム、大島ダム、大野頭首工、矢作川水系では、矢作ダム、羽布ダムが対象となります。この原稿を作成している現在（6 月 30 日）、まさに大島ダムと宇連ダムが豪雨に備えて事前放流を行っているとの報告を頂いています。

この事前放流については、主に既存ダムのソフト面のみの変更により、利水効果はそのままで、新たに大きな治水効果を生み出すこととなります。これから出水期を迎え、本格的な運用が始まることと思いますが、今回の措置で鍵となるのは「上流域予測降雨量」の精度かと思います。今後はそうした観点で、各ダムを注視していく必要があるものと考えております。

さて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言が 5 月 25 日に解除されました。6 月 19 日には、都道府県境をまたぐ移動の自粛が解除されるとともに、プロ野球が 3 か月遅れで開幕を迎え（相変わらず弱い中日ですが、応援できるだけで幸せ・・・です）、7 月 4 日には Jリーグが再開され、街にも観光地にも、少しずつではあるものの賑わいが戻って来ている、との報道を耳にするようになりました。しかしながら、宣言解除後の 1 か月で千人以上の新規感染者が確認されているなど、第二波の襲来が懸念されているところでもあります。

このように、新型コロナウイルスと共存せざるを得ないこれからの社会において、多くの県民の皆様のご生活、経済を支える「豊川用水」、「矢作川利水施設」の管理の一翼を担う当協会に対しては、これまで以上に、安定した業務運営が求められることとなります。

このため、今回の緊急事態宣言期間中は、当協会の事務局職員を 2 班に分け、出勤と在宅勤務を交互に行うことで、通勤による感染リスクを減らすとともに、仮に感染者が発生した場合でも、業務を継続できる体制としたところです。また、消毒液の常備や執務室の定期的な換気、デスク間の間仕切りなど、身近なところで、できることは全て実施していくこととしております。

なお、在宅勤務の実施に際しては、急な対応で十分な業務環境ではない中においても、各職員の尽力により円滑に業務を進めることができました。この経験を生かして、コロナ対策に限らず、今後も必要に応じて柔軟に取り入れることができるものと考えております。また、「デスク間の間仕切り」は職員の直営施工により非常に短期間かつ安価に設置することができました。

まさに役職員一丸となって、公益法人としての使命を果たすべく頑張っているところでありますので、なお、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和元年度事業報告及び令和2年度予算

令和2年6月29日開催の評議員会において、令和元年度の事業報告を行うとともに、決算書類の承認を受けました。また、評議員2名、理事2名、監事1名が選任されました。

●令和元年度の事業実施概要

1 事業の実施状況

1.1 公益目的事業

(1) 多目的用水施設の操作維持管理

豊川用水施設及び矢作川利水施設の配水操作及び維持管理業務を年間を通して実施しました。

(2) 水管理技術の蓄積

用水施設の管理に関連する気象・水象情報等を収集整理しました。

(3) 管理技術講習会

水路管理業務に携わる職員等を対象として、以下の講習会を開催しました。

① 管理技術に関する講習会（2回開催）

『気象災害と防災気象情報』、『ドローン(UAV)の活用について』

第1回 令和2年1月31日(金) (愛知用水会館)

第2回 令和2年2月7日(金) ((独)水資源機構豊川用水総合事業部)

② 防災・減災に関する講習会

『あいちの防災まちづくり』

令和2年2月26日(水)に予定していた講習会は新型コロナウイルス対策のため、急きょ中止としました。

(4) 設計・管理技術支援等

刈払機を使用する作業に従事する土地改良区等の職員に対し、安全衛生教育に関する講習等を実施しました。

(5) 地震時の初動活動支援

愛知用水、豊川用水及び矢作川利水施設の周辺居住者を地震防災モニターに選任し、震度4以上の地震発生後、施設の状況を管理者に通報するなど、地震時の初動活動を支援するものです。

今年度は、出勤基準に達する地震は発生しませんでした。

(6) 用水の適正利用のための広報啓発活動

① 水資源の有効活用のための情報提供

毎日のダム貯水量や毎月の気象予報をホームページ「あいとよネット」に掲載・更新しました。また、広報誌「あいとよ協会だより」を2回発行しました。

② 県民に対して用水の適正利用を広報啓発

1) 県民への啓発

○豊川用水上下流交流事業〈令和元年8月2日(金)〉

水源地域の小学校4年生を対象に、豊川の水がどのように使われるのかを知ってもらうため、豊川総合用水土地改良区との共催で万場調整池等の見学会を開催しました。

○あいちの農業用水展〈令和元年8月3日(土)〉

尾張一宮駅前ビル3階シビックテラス(一宮市)において、愛知県等と共催し、県内の大規模農業用水に関するパネル展示、イベント、生きもの展示などを実施しました。

○愛知用水・水のふるさと探訪ツアー〈令和元年10月25日(金)～26日(土)〉

愛知用水の水のふるさとを訪ね、水源地や水の大切さを見つめなおすとともに、木曾地域を応援することを目的として、おんたけ休暇村と共催で実施しました。

2) 広報資料の作成

用水施設の役割と水の重要性に関する広報啓発資料を作成し、小学生向けの出前講座やPRイベント等に活用しました。

・不織布バッグ ・付箋セット ・児童用下敷き ・クリアファイル など

③用水の周年記念事業

「愛知用水通水60周年」

愛知用水通水60周年(令和3年)を節目とした、受益地と水源地の交流イベントの実施について検討を行いました。

(7) 水関係政策の推進

国及び県の水関係政策に係る委員会の委員として延べ8回の委員会に出席し、助言等を行いました。

1.2 収益事業

(1) 管理図書充実支援

豊川用水二期事業関連の工事関係書類の電子化

(2) 水路上部有蓋化箇所の利活用

愛知用水水路上に市町等が整備した公園等の管理

(3) 会議運営

総合評価審査委員会の運営補助

(4) その他

豊川用水二期事業関連の調査及び現場技術業務

1.3 関連事業

「第70回全国植樹祭」

令和元年6月2日に愛知県森林公園で開催された、国土緑化運動の中心的行事である「第70回全国植樹祭あいち2019」の趣旨に賛同し、協賛を行いました。

2 役員会等に関する事項

(1) 監事監査

①令和元年6月4日 平成30年度決算監査

(2) 理事会

①令和元年6月11日 平成30年度事業報告及び決算等

②令和元年6月26日 理事長、専務理事の選定

③令和2年3月17日 令和2年度事業計画及び予算等(書面決議)

(3) 評議員会

①令和元年6月26日 平成30年度決算、評議員・理事の選任

②令和2年3月23日 令和2年度事業計画及び予算(書面決議)



●令和元年度決算

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部	399,280	II 負債の部	68,268
1 流動資産	172,810	1 流動負債	53,609
現金預金	118,459	未払金	44,954
未収金	53,778	預り金	572
前払金	573	賞与引当金	6,444
2 固定資産	226,470	リース債務	1,639
基本財産	68,000	2 固定負債	14,659
特定資産	140,605	退職給付引当金	7,254
その他固定資産	17,865	長期リース債務	7,405
		III 正味財産の部	331,012
		1 指定正味財産	40,000
		2 一般正味財産	291,012
		期首残高	286,250
		当期増減額	4,762
資産合計	399,280	負債及び正味財産合計	399,280

経常費用

(単位:千円)

公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
242,918	64,143	998	308,059

●令和2年度予算

経常費用

(単位:千円)

公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
253,708	62,033	1,241	316,982

お知らせ

～「愛知用水 水のふるさと探訪ツアー」～ 開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、健康と安全を考慮し、今年度のツアーは中止とさせていただきます。



このツアーは、水の大切さと水を供給する施設の重要性を愛知県の皆さんに啓発することを目的として実施しています。

きっかけは、平成26年の御嶽山噴火の影響で低迷していた木曽地域の観光産業を応援するとともに、御嶽山の流域を水源とする牧尾ダムの役割を知ってもらうため、おんたけ休暇村と当協会が1泊2日の貸し切りバスツアーを企画したことです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対策が確立されていないため、安心して実施できる状況にはないと判断しました。

ツアーが再開できるようになりましたら、皆様のご参加をお願いします。

実施経過

実施年度	実施内容
H27 (第1回)	牧尾ダム見学、瀬戸川ウォーキング
H28 (第2回)	牧尾ダム見学、赤沢自然休養林、うぐい川渓谷ウォーキング
H29 (第3回)	牧尾ダム見学、妻籠～馬籠宿ウォーキング、赤沢自然休養林ウォーキング
H30 (第4回)	牧尾ダム見学、赤沢自然休養林、鳥居峠～奈良井宿ウォーキング
R1 (第5回)	阿木川ダム見学、苗木城跡、水木沢天然林ウォーキング



木曽川・豊川・矢作川水系のダム貯水率

令和2年7月14日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

★ダム貯水量曲線 [毎日更新]

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

「あいとよネット」で検索
[\(http://www.aitoyo.or.jp/\)](http://www.aitoyo.or.jp/)

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R2.7.14

水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	61,495	90.4	81.9	+ 8.1
阿木川ダム	22,000	22,000	100.0	93.5	+ 6.5
味噌川ダム	31,000	31,000	100.0	97.9	+ 2.1
岩屋ダム	61,900	61,900	100.0	96.6	+ 3.4
豊川水系					
宇連ダム	28,420	27,719	97.5	83.6	+ 13.9
豊川用水全体	51,820	50,642	97.7	87.9	+ 9.8
矢作川水系					
矢作ダム	50,000	40,400	80.8	83.0	△ 2.2
羽布ダム	18,461	16,486	89.3	82.6	+ 6.7

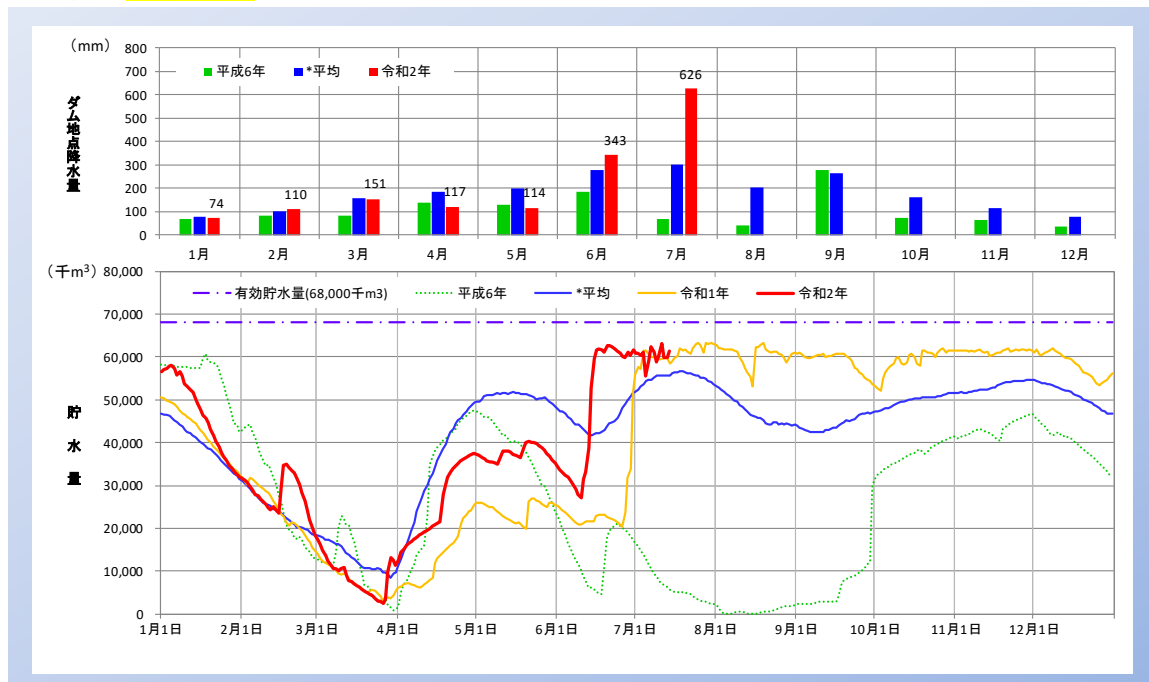
注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

貯水量曲線は、ホームページに掲載

<http://www.aitoyo.or.jp/tyosui.html>

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 **61,495 千m3** 7月14日 現在

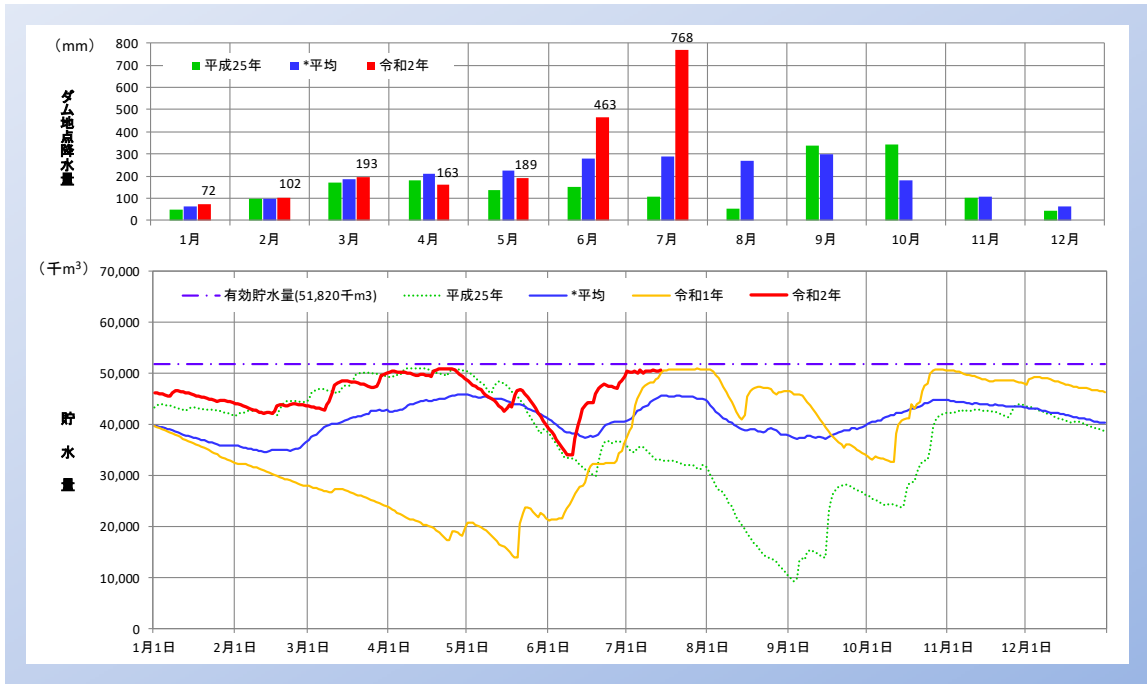


* 平均: 昭和 37 年 1 月から令和元年 12 月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <http://www.water.go.jp/chubu/aityosu>)

豊川用水全体の貯水量曲線

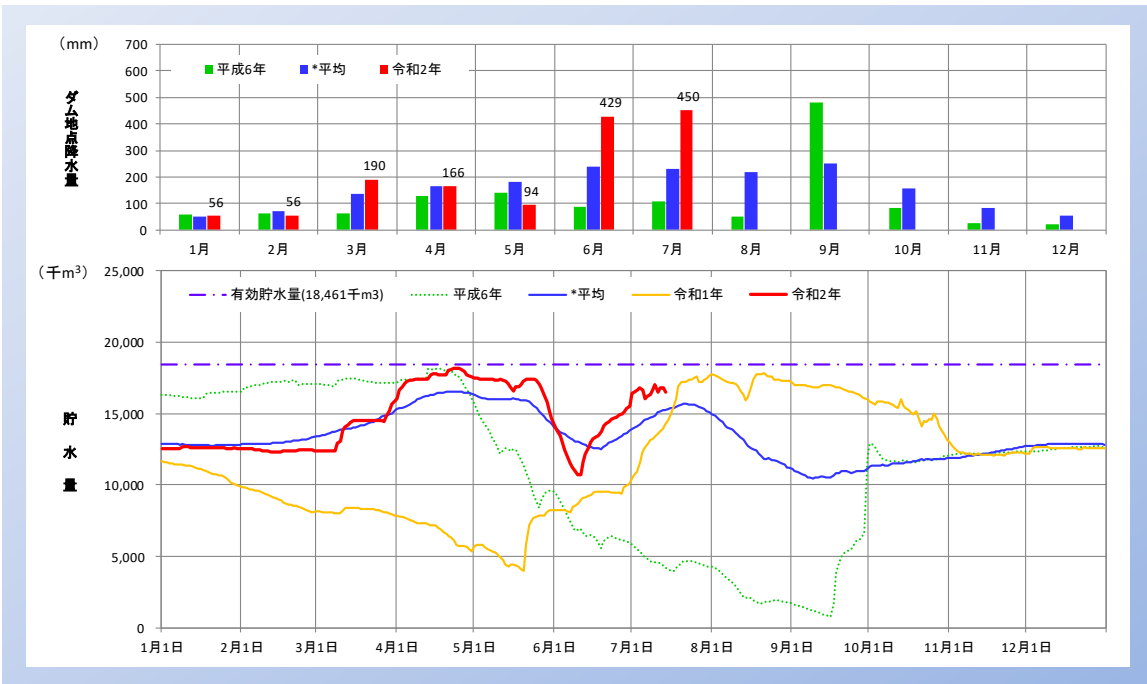
貯水量 **50,642 千m3** 7月14日 現在



* 平均:平成 14 年 4 月から令和元年 12 月 (雨量は昭和 43 年 4 月から令和元年 12 月)
 (データ提供: 独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部 URL <http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **16,486 千m3** 7月14日 現在



* 平均:昭和 39 年 1 月から令和元年 12 月
 (データ提供: 愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

愛知県内気象データの提供について

当協会では、適正な水利用のため、水源状況や地域の気象予報を把握し、ホームページなどで情報提供に努めているところです。

今回、気象に関して更に展開を図るため、気象庁から入手した気象データの収集整理を行い、令和2年4月にホームページ(<http://www.aitoyo.or.jp> 愛知県内気象データ)に掲載しました。提供内容は次のとおりです。

1. データ収集

- (1) 観測所
愛知県内のすべての観測所（廃止観測所も含む）
- (2) 期間
観測開始日から令和元年12月31日まで
- (3) 収集データ項目
日降水量、1時間降水量、月別値

2. とりまとめ内容

- (1) 一般気象
各観測所の平均値
気温、降水量、降水日数の「年平均」「5月から9月の平均」「10月から4月の平均」、
最多風向、観測史上最大風速
- (2) 特殊気象
各観測所の特殊気象、1位から5位まで
最大日雨量、最大時間雨量、最大4時間雨量、
最大連続雨量、最大連続干天日数の「数値」「発生日」「発生確率」

3. データ更新

毎年更新していく予定です。



愛知県内気象データから主な観測所の数値を比較してみました。

年間の平均気温や平均降水量は地形に影響を受けていることが分かります。標高約500mの稲武では平地より4℃ほど気温が低く、降水量は東三河の山間部で多く、特に茶臼山は平地の2倍になっています。

最大雨量は、観測所によってかなり差があるのが特徴的ですが、愛知県に大きな被害をもたらした東海豪雨(H12.9.11~12)時の値が観測史上1位となっている箇所が多いということが分かります。岡崎の最大時間雨量146.5ミリについては、平成20年8月末豪雨と名付けられ愛知県を中心に広い範囲で大雨をもたらしたときのもので、全国でも8位に記録されています。発生確率についても今回用いた手法では計算できないほど特異なものでした。

雨の量は、地形や風向きに影響される傾向にありますが、そのときの低気圧、前線や台風による影響が大きく、「いつ」「どこで」「どのような」大雨が降るかは予測できないのが現状だと思われます。

愛知県内気象データから比較

観測所名		名古屋	一宮	東海	南知多	岡崎	豊田	稲武	豊橋	鳳来	茶臼山	
観測期間		M23.7.1~ 現在	S51.1.1~ 現在	S51.1.1~ H24.10.16	S51.1.1~ 現在	S51.1.1~ 現在	S51.1.1~ 現在	S51.5.7~ 現在	S51.1.1~ 現在	S54.1.9~ H14.12.24	S51.5.8~ 現在	
年間平均気温	℃	15.8	観測なし	16.0	15.2	15.2	14.8	11.5	16.0	14.6	観測なし	
年間平均降水量	ミリ	1,535	1,686	1,490	1,537	1,452	1,451	1,964	1,691	2,077	3,060	
最大日雨量 (ミリ)	1位	数値	428.0	286	492	374	263.5	217	245	318	315.0	323.5
		年月日	H12.9.11	H16.7.10	H12.9.11	S51.9.12	H20.8.29	H12.9.11	H12.9.12	S58.8.17	S57.8.3	H30.9.4
		発生確率	(計算不能)	1/58	1/529	1/151	1/347	1/94	1/52	1/244	1/136	1/50
最大時間 雨量 (ミリ)	1位	数値	97.0	120.0	114	90	146.5	63.5	70	89	67.0	73.5
		年月日	H12.9.11	H20.8.28	H12.9.11	S51.9.12	H20.8.29	H29.8.11	H12.9.12	S52.7.27	H6.8.9	H30.9.4
		発生確率	1/94	1/552	1/147	1/86	(計算不能)	1/34	1/148	1/55	1/30	1/125

通水 60 周年を前に、 写真で見る愛知用水



整地盛土工事



東郷調整池
(愛知池)

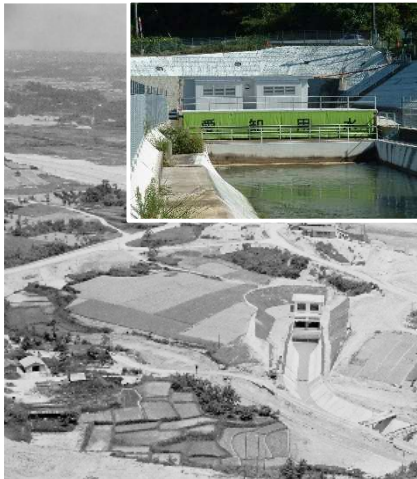


愛知用水総合管理所

東郷調整池(愛知池)は、愛知用水を取り入れる兼山取水口から約 52 km地点にあり、有効貯水容量 900 万 m^3 の傾斜遮水壁型アースダムです。
愛知用水幹線水路を通じて貯留し、水道用水・農業用水・工業用水に利用されています。また、調整池の落差を利用して小水力発電(発生電力最大約 1000kw)を行い、愛知用水の管理に利用しています。

中流部編

愛知用水は、2021 年 9 月 30 日で通水 60 周年を迎えます。そこで、愛知用水の建設当時から現在に至るまでを写真で振り返ってみたいと思います。今回は東郷調整池(愛知池)から幹線水路中流部の施設を見てみることにしました。
次回は前山池から幹線水路下流部の施設を見てみる予定です。



諸輪第1開水路



大高サイホン



東海道線復旧作業



★印は建設時(昭和 32 年~36 年)の写真
写真提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所

公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会の概要

○目的 木曽川水系、豊川水系及び矢作川水系における愛知県の農業用水、水道用水及び工業用水を供給する幹線水路等施設の配水操作、維持管理及び調査研究業務を通じて得た水管理に関する技術を活用することにより、用水の適正利用に関する広報啓発及び用水の安定供給を確保するための事業を行い、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

○沿革 昭和 63 年 4 月 財団法人愛知・豊川用水振興協会を設立
(愛知県、愛知用水土地改良区、豊川総合用水土地改良区等により設立)
平成 11 年 10 月 豊橋支所を設置
平成 21 年 4 月 岡崎支所を設置
平成 25 年 4 月 公益財団法人に移行
平成 26 年 7 月 事務局(本部)を愛知県三の丸庁舎に移転
令和元年 6 月 豊橋支所を土地改良会館(豊橋市今橋町)に移転



○所管行政庁 愛知県

○基本財産 6,800 万円

愛知・豊川用水振興協会キャラクターについて
「水の妖精 アイ」(愛称: アイちゃん)

水の妖精 アイ

愛知用水や豊川用水を流れる水から生まれた妖精です。愛知・豊川用水振興協会の「愛」と、広報活動をサポートする役目として、information(情報や案内)の頭文字「i(アイ)」から名付けました。水滴をモチーフにして形作られ、渦巻き状の魔法の杖を片手に、みんなに愛と豊かさとお潤いをお届けするお手伝いをしていきます。

事業

○公益目的事業

- ①多目的用水施設の操作維持管理
- ②多目的用水施設の水管理技術の蓄積
- ③多目的用水施設の管理技術講習会等
- ④多目的用水施設の設計・管理技術支援等
- ⑤地震時の初動活動支援
- ⑥用水の適正利用のための広報啓発
- ⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○収益事業

- ①管理図書充実支援
- ②水路上部有蓋化箇所を活用
- ③会議運営
- ④その他公益目的事業の推進に資する事業

アクセス

〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目 6-1
(愛知県三の丸庁舎 8F)

TEL 052-961-8985
FAX 052-961-9255
Email honbu@aitoyo.or.jp
http://www.aitoyo.or.jp

